

ポートフォリオ組成に役立つよ もやま話

2024-02-15 / マケデコセミナー / @yoshiso44

Self Introduction

Name:

よしそ(@yoshiso44)

Job:

botter / marker taker

Background:

ソフトウェアエンジニア/データサイエンティスト

Interests:

Financial Time Series Deep Learning /

Deep Learning Generalization on Noisy Data

Agenda

- 経済サイクルとパフォーマンス
- 株式と金の関係性
- 株式と債券(金利)の関係性
- 株式と金利差の関係性
- 役目を終えた？リスク回避資産としての円
- BTCと各種資産との関係性

**Not
Financial
Advice**

経済サイクルとパフォーマンス

経済成長

インフレーション

上昇

株式

コモディティ
ゴールド

下降

債券

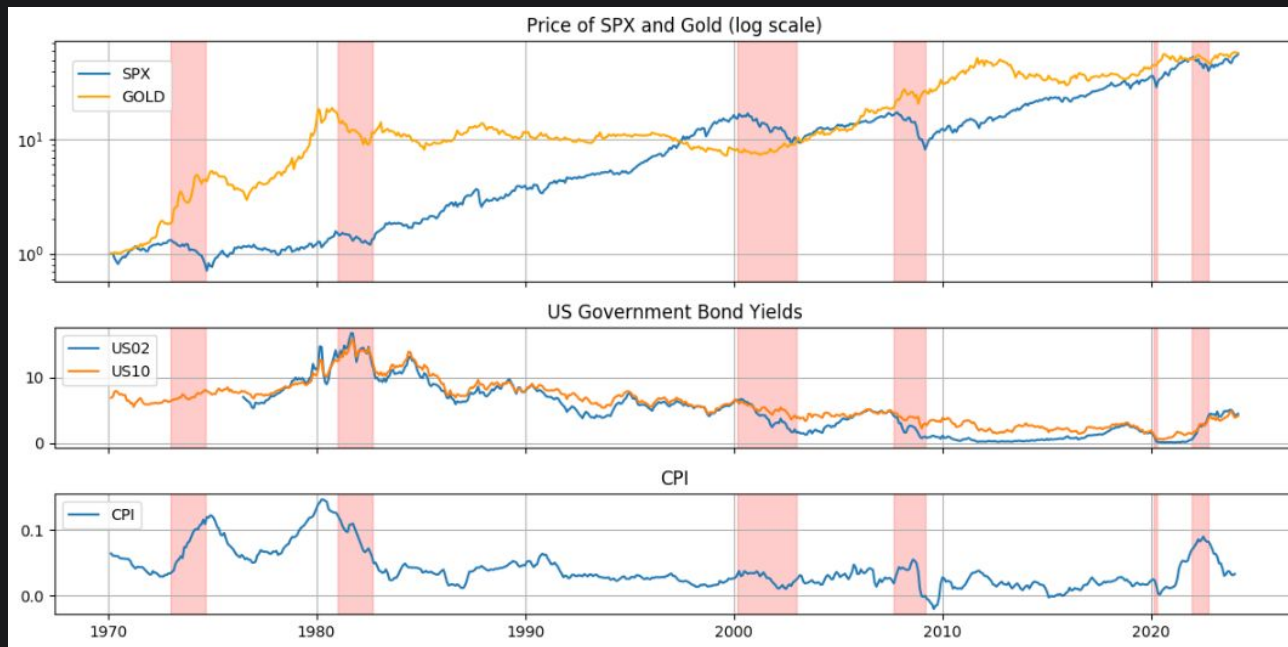
債券

株式と金の関係性

株式と金の関係性

- 基本的にインフレに対するリスク回避資産の性質を持つ
 - 金自体の希少性や生産量の制約により、法定通貨対比で価値が上昇する
- 50年近くにわたり低相関な期間が多い
- 米株の大きいDDをカバーする期間が数多く存在する
(特に高インフレ期)

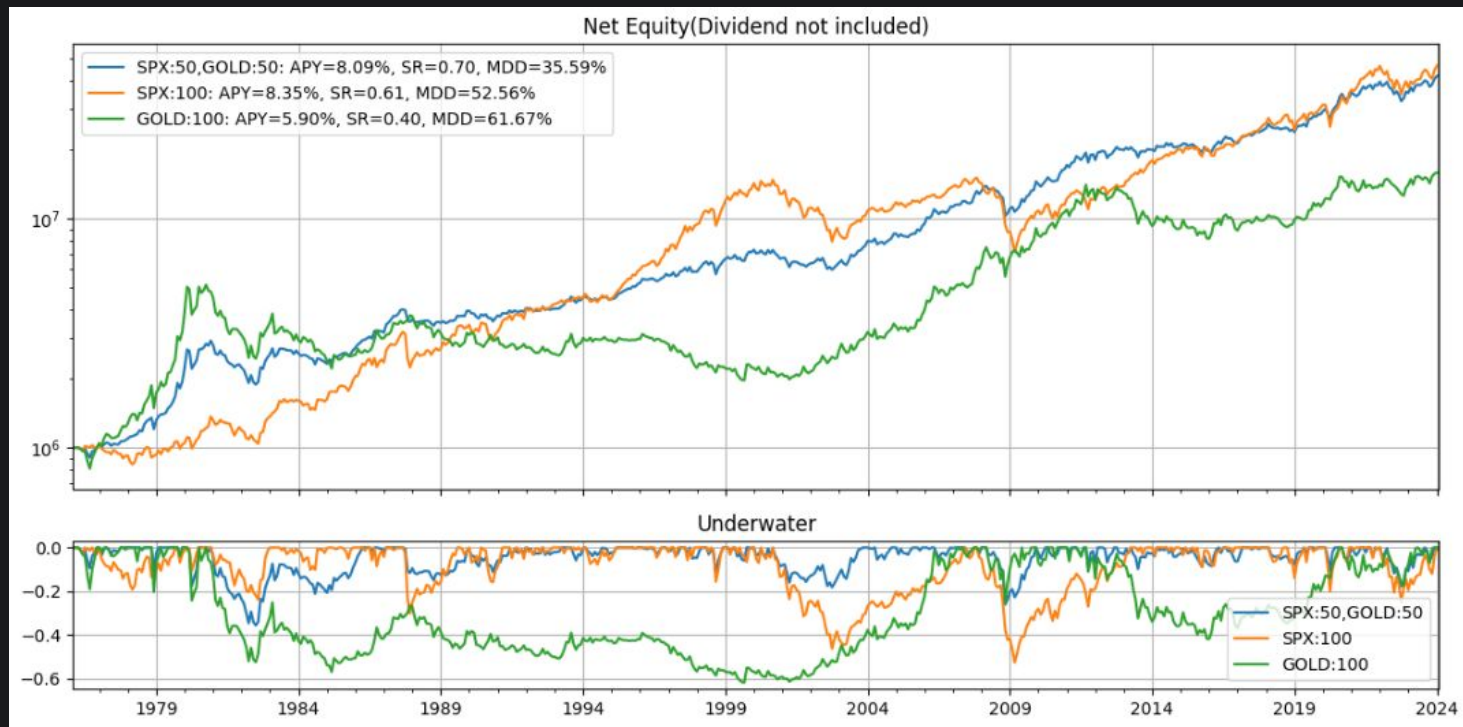
株式と金の関係性



株式と金の関係性



株式と金の関係性

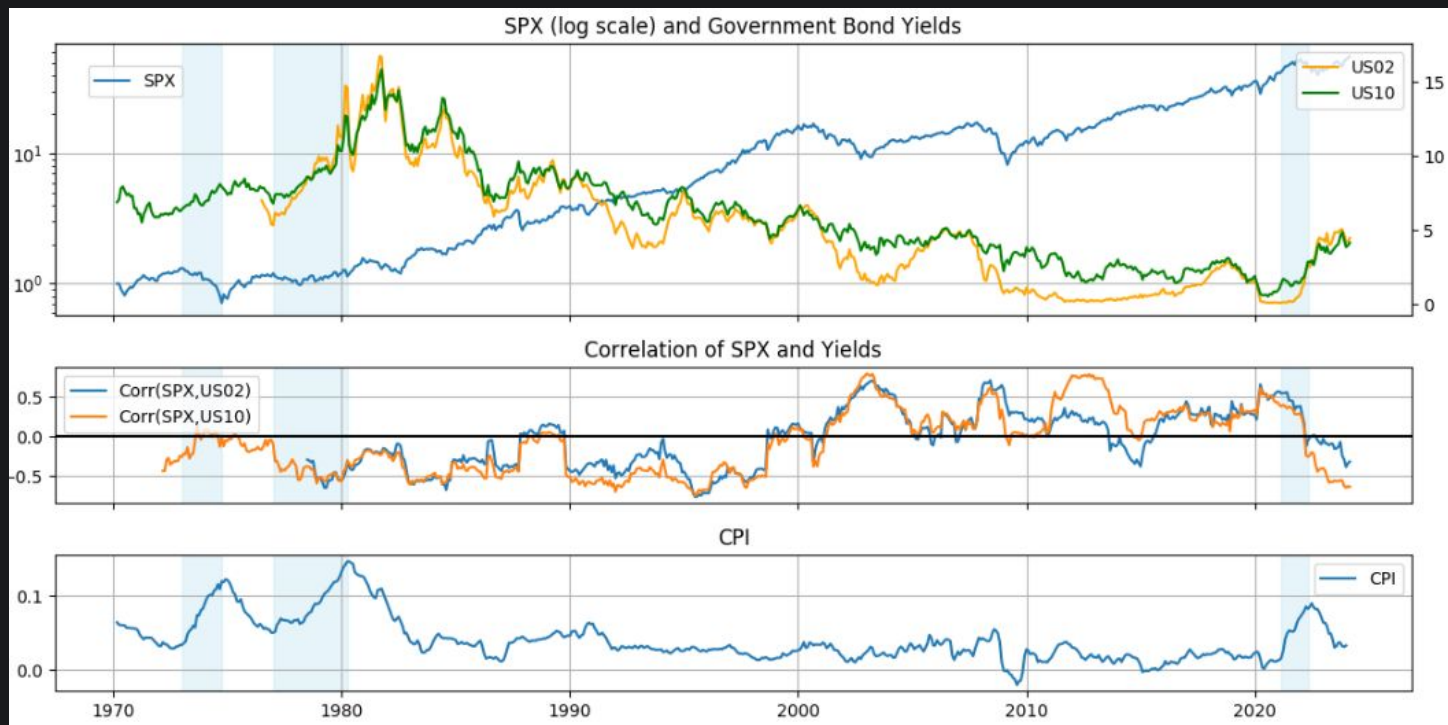


株式と債券の関係性

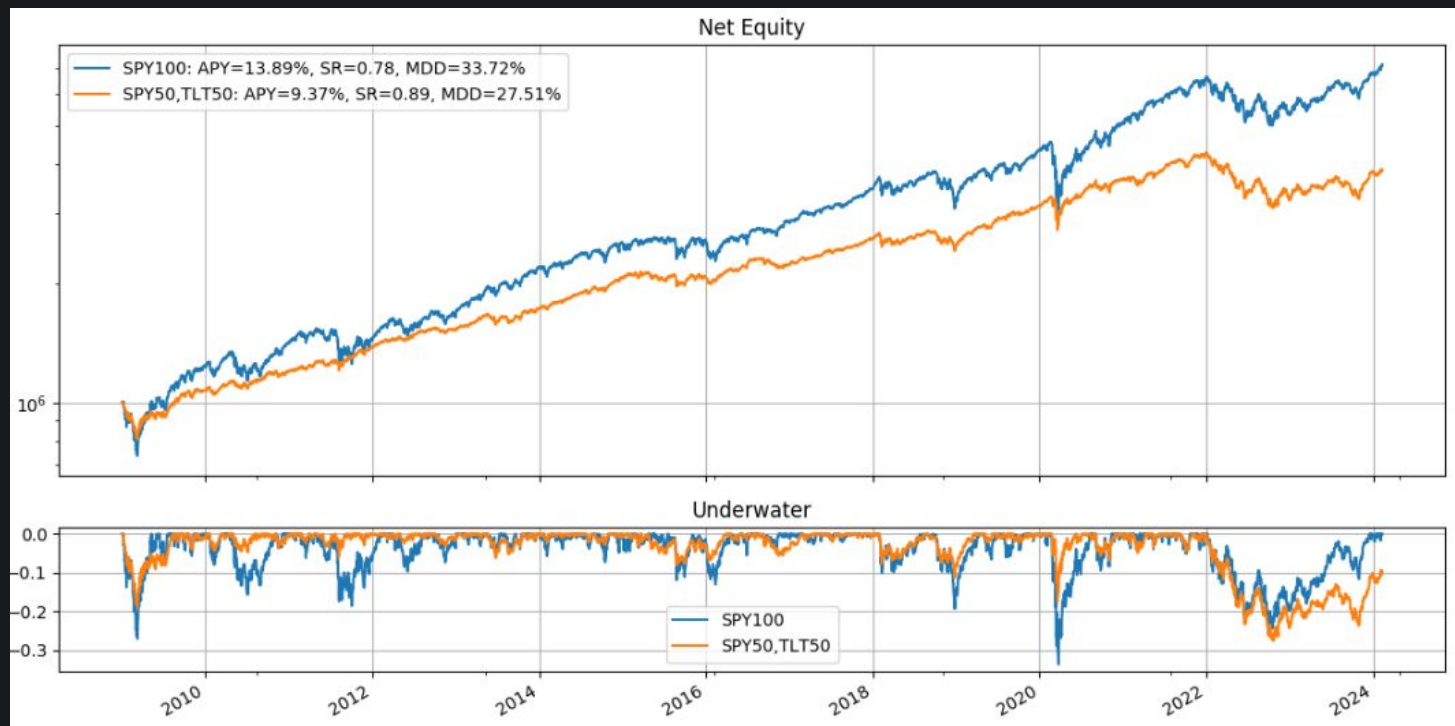
株式と債券の関係性

- 良く米債と米株は逆相関で補完性に優れていると言われている。がそれはここ20年程度の話。
- インフレーションか否かで相関関係は逆転し、順相関になる。2022年米債/米株で組まれたポートフォリオが大きく毀損したのはその影響。

株式と債券の関係性



株式と債券の関係性

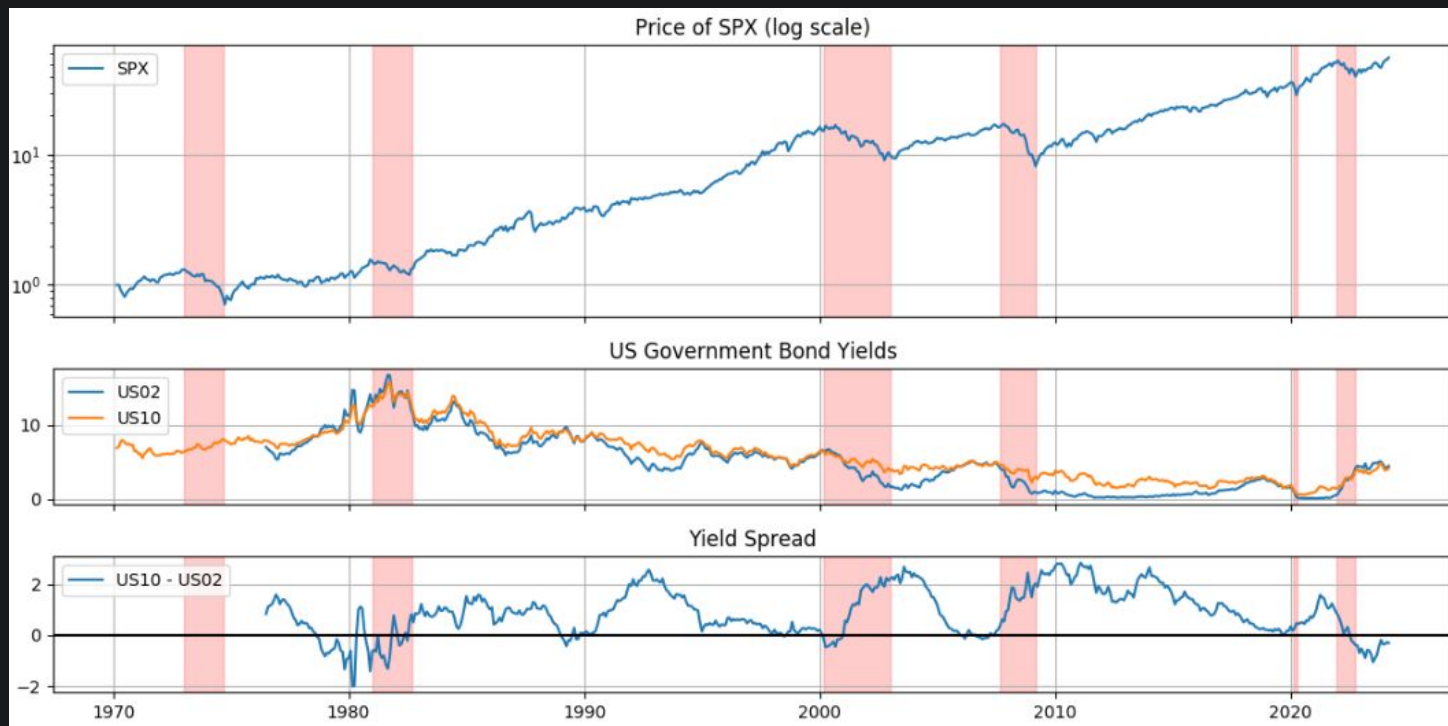


株式と金利差の関係性

株式と金利差の関係性

- 長短金利差が逆転した後に(長期金利<短期金利)米国株が大きく調整するアノマリーが存在する
- これは景気の抑制や物価の安定のために金利を上げて経済の引き締めた際に、行き過ぎてしまうことに起因する。
- この時に以下のような現象が起き、株価の調整が始まる可能性がある
 - 引き締めが行き過ぎていて不況となる
 - 債券が魅力的な利回り+capital gain狙いの株売り債券買い

株式と債券の関係性



**役目を終えた？
リスク回避資産としての円**

役目を終えた？リスク回避資産としての円

- 経常的な黒字の貿易収支の要素が消失
- インフレ下での緩和的な経済政策の継続

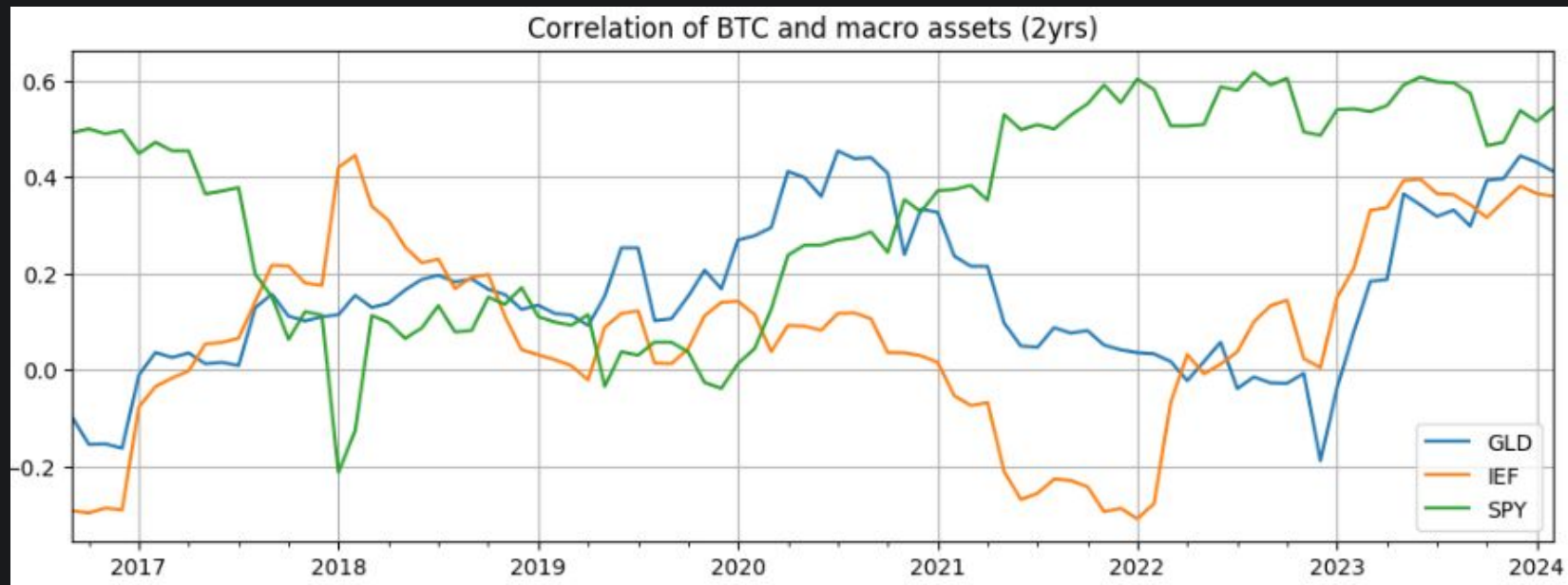


BTCと各種資産との関係性

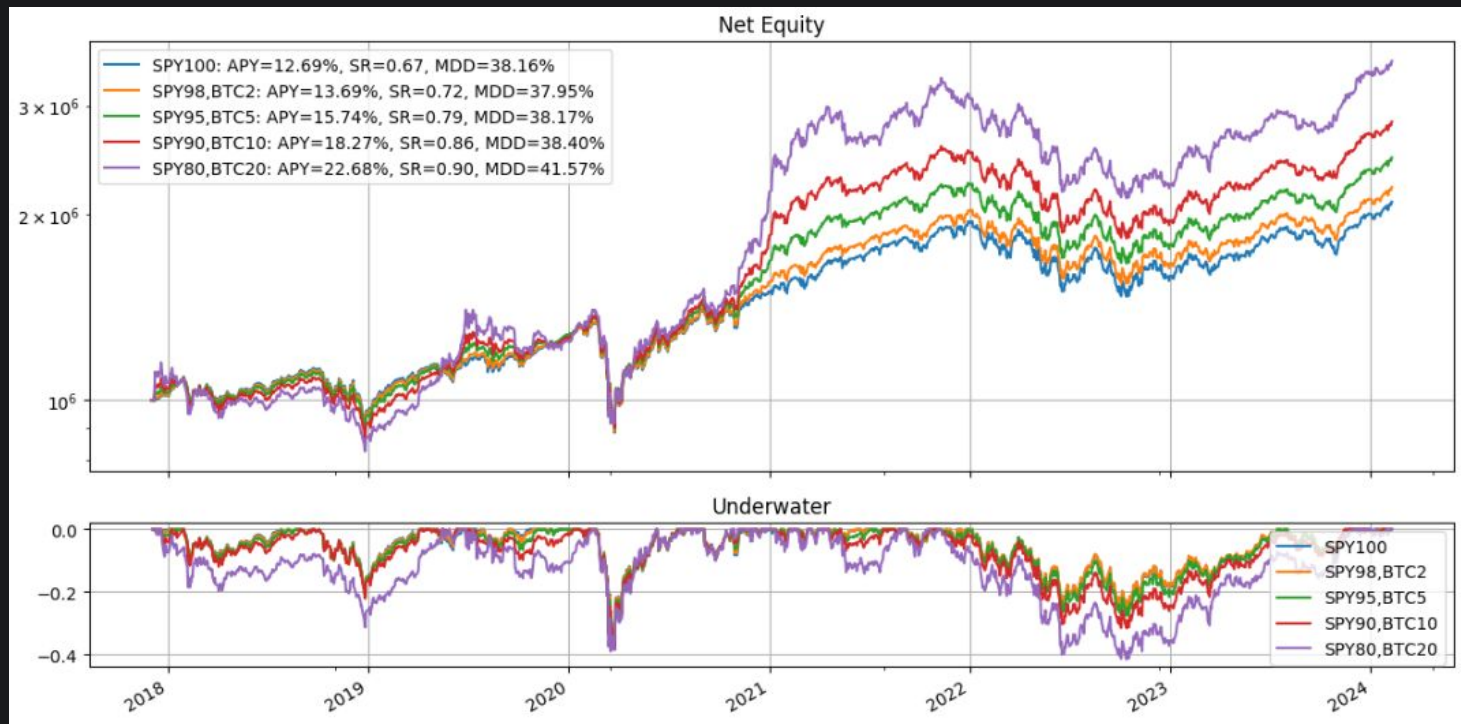
BTCと各種資産との関係性

- BTCの総量上限および経年による採掘難易度の難化と希少性増により、法定通貨対比での価値を保存するためのオルタナティブコモディティとしての立ち位置
- 米株との相関は2020年頃まで~0.2以下だったが、近年相関は高まっている(0.6)。相関が低いほどポートフォリオへの組み入れ資産として魅力的だが、近年その魅力は減少傾向。
- 過去のデータ上は小さい割合でもポートフォリオへ入れることで収益率やシャープレシオに貢献する可能性はある。

BTCと各種資産との関係性

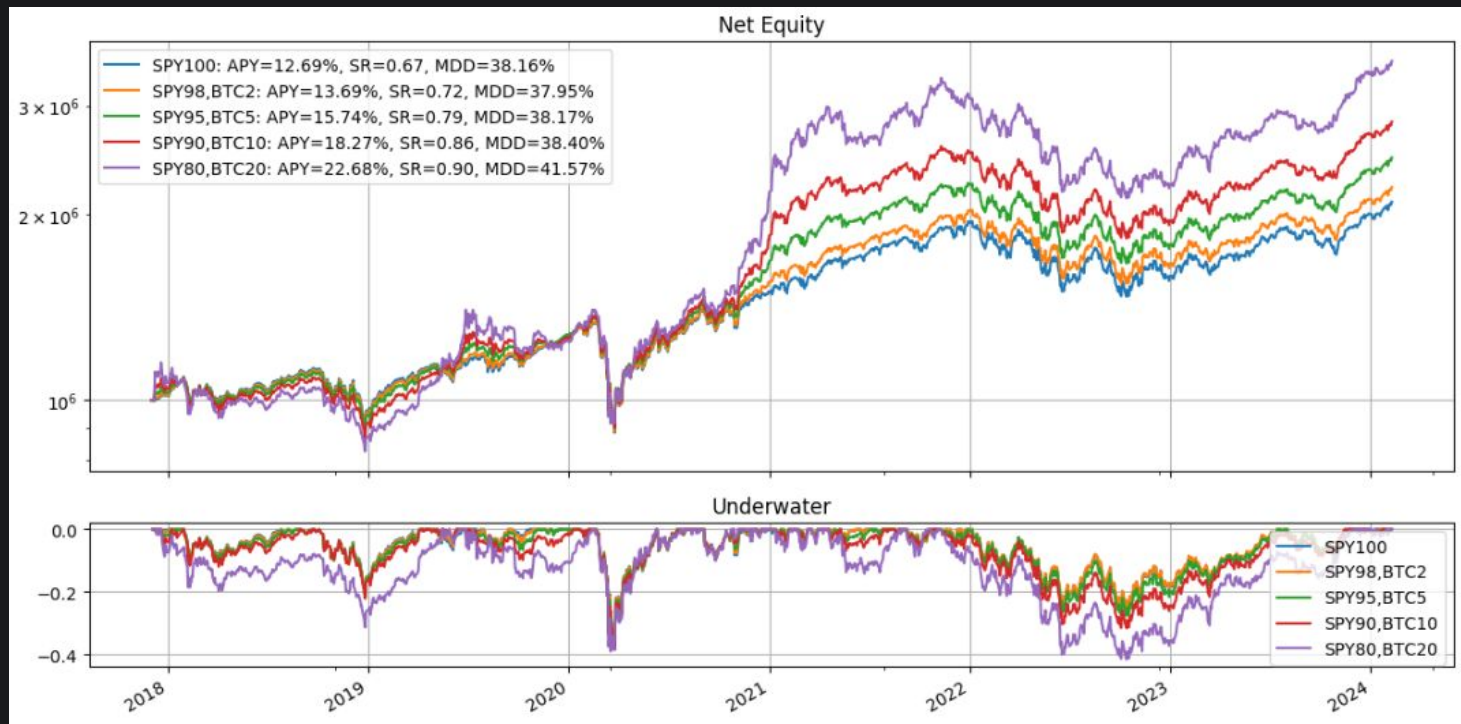


BTCと各種資産との関係性

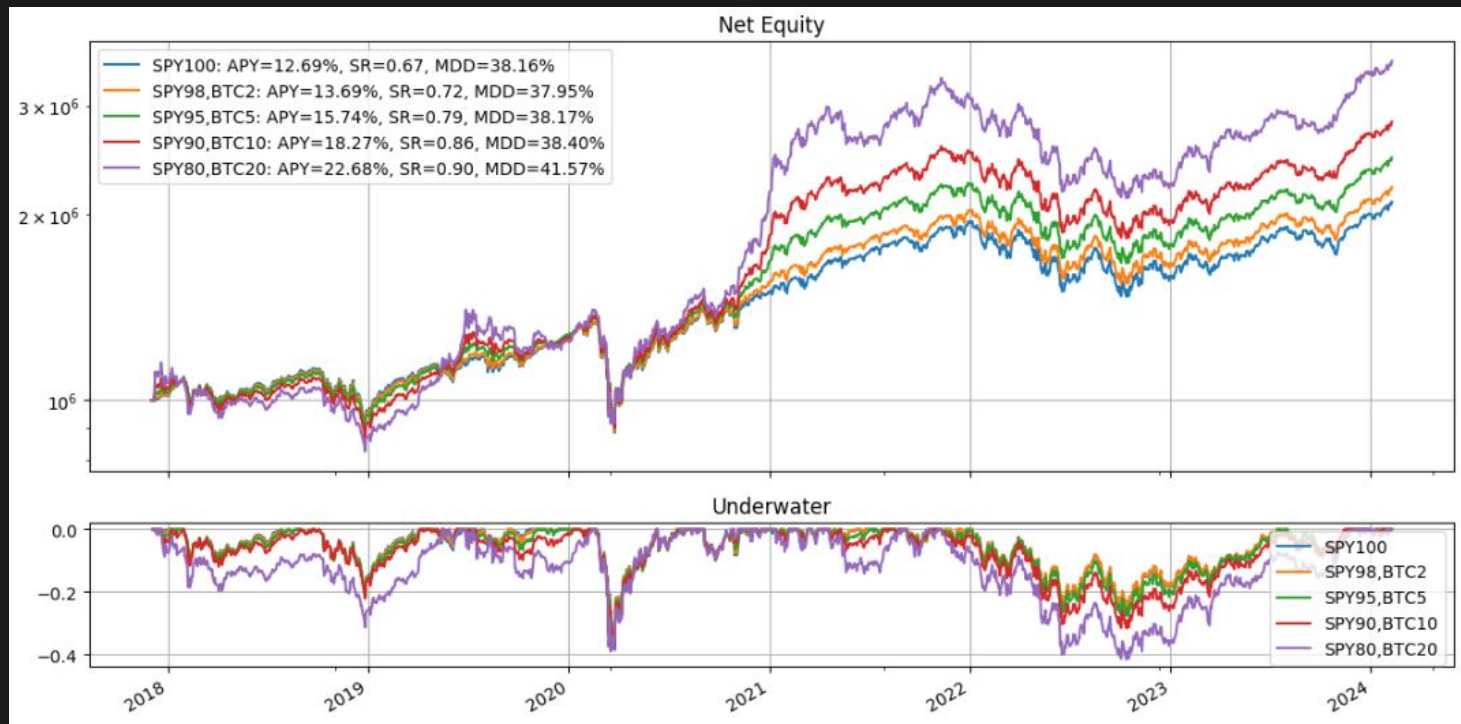


Appendix

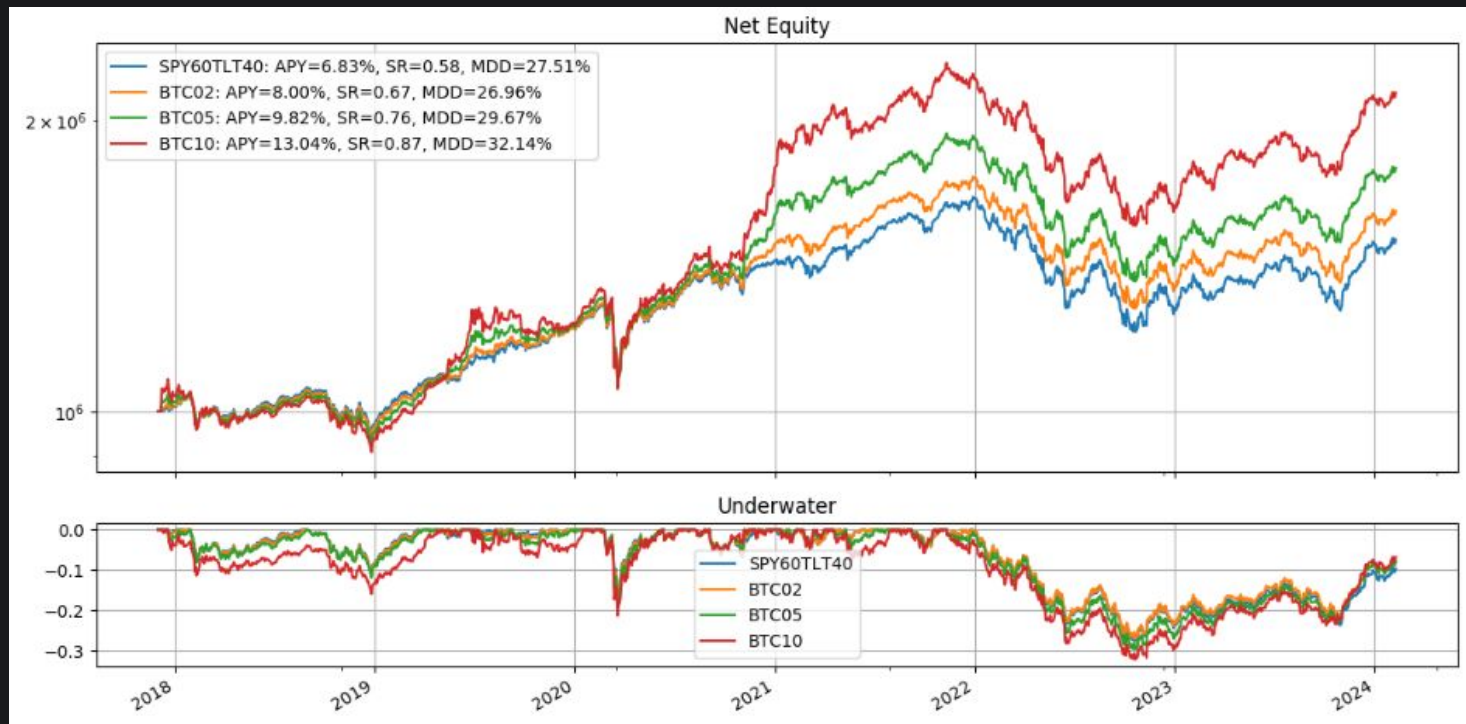
参考ポートフォリオ SPY + BTC



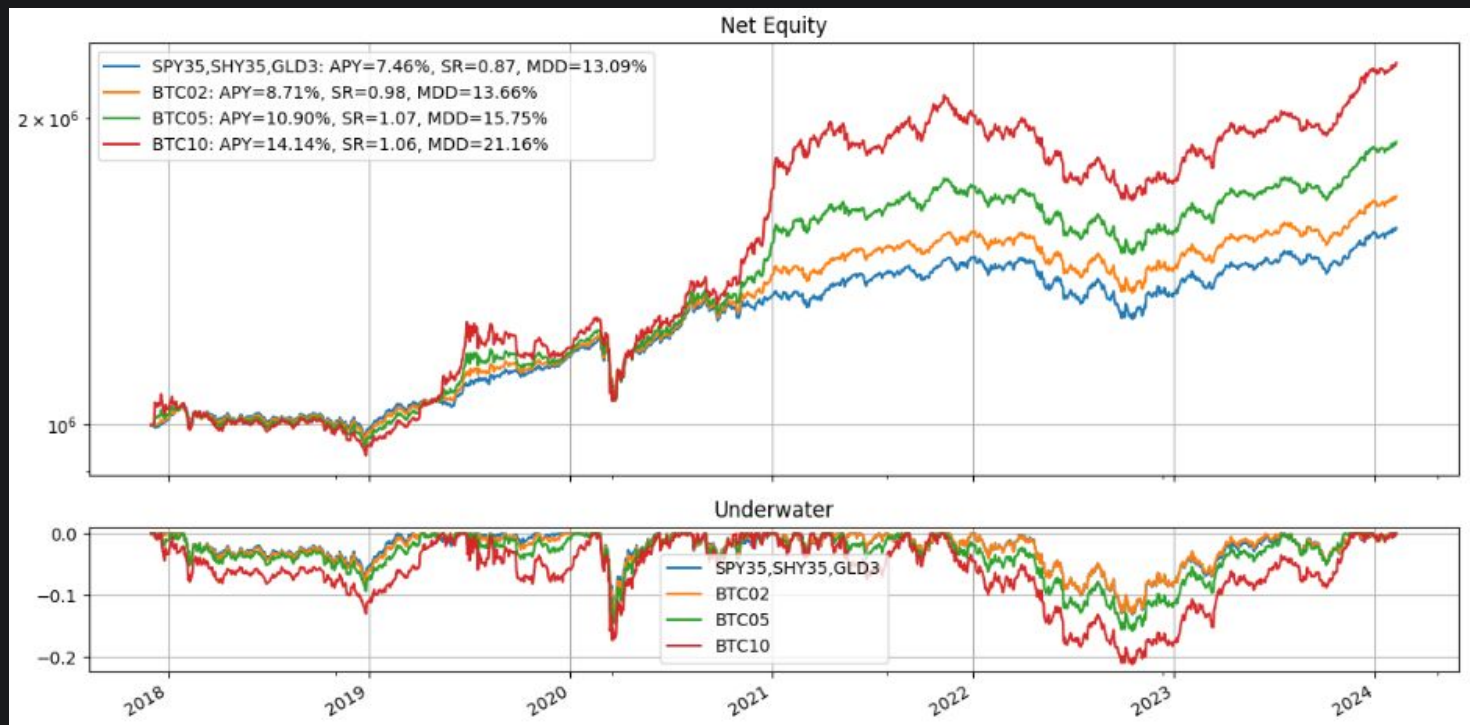
参考ポートフォリオ SPY



参考ポートフォリオ SPY60 + TLT40



参考ポートフォリオ SPY35 + SHY35 + GLD30



Fin.